

# 一ふみ十年

主題名 感動する心

内容項目 感動、畏敬の念

美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつこと。

ねらい 自然の偉大さ素晴らしさを感じ、人間の力を超えたものに対して感動する心をもつ。

## 主題設定の理由

### 指導内容について

本指導内容は、美しいものや崇高なもの、人間の力を超えたものとの関わりにおいて、それらに感動する心や畏敬の念をもつことに関するものである。

第6学年の段階においては、生きていく中で出会う美しいものや気高いものには、例えば、自然のもつ美しさや名作と言われる芸術作品、思わず涙をこぼしてしまうような人と人との関わり等、目に見え

るものとそうでないものがある。真に美しいものに気づき、感動する心をもつことは、より豊かな生き方、人間としての在り方を求めるうえで大切なことである。

人間の中にある美しさや崇高さについて考えさせ、物事の本当の美しさを見出そうとする態度を養うよう指導する。

### 児童について

高学年になると、感動を覚える対象が、人間のもつ心の美しさ・崇高さや、自然や芸術作品における人間の業を超えたもの等、幅広くなってくる。また、それらの美しいもの・気高いものとの出会いと感動を積み重ねる中で、人間としての在り方をより深く見つめ、考えていくことが求められるようになってくる。

この段階の児童は、芸術作品や自然の情景、人の

優しさや友情等に対し、感動し、美しいと感じるだけでなく、そうしたものを大切にしようとする思いをもつことができる。しかし、その感じ方には個人差がある。

そこで、「本当の美しさとは」というテーマについて、学級の仲間とともに考えを深めていくことは、真に美しいものを見出したり、大切にしたりしようという思いをもつ上で大切なことである。

### 教材の特質について

本教材は、富山県の立山の自然を守ることの大切さが描かれている。主人公の気持ちを通して、自然の大切さを考えることができる。また、チングルマという小さな高山植物に焦点をあてることで「小さ

な植物にも、何十年という命が続いている」ととらえることができ、自然に対して感動を深めることができる。

出典：吉藤一郎作（『小学校 道徳の指導資料とその利用』より）

## 評価のポイント

- ① 自然の偉大さ素晴らしさについて、これまでの経験を想起しながら考えを深めることができたか。

### 導入

#### 1. 自然の偉大さ美しさについて考える

(立山の広大な自然の写真を提示)

- 富山県にある立山の写真です。写真を見てどう思いますか。
  - ・すごい。とてもきれいです。
  - ・自然が豊かだなと思います。
- みなさんも、自然が豊かできれいだなと思ったことはありませんか。
  - ・遠足で登った山の頂上から見た景色がきれいでした。すごく気持ちよかったです。
  - ・学校の近くにある森林の中に行ったときにきれいだなと思いました。

- 立山の写真から、身近の自然について考えられるようにする。
- 写真を提示した後に、2 ページ目の 5 行目まで読み聞かせる。

自然の偉大さ素晴らしさを感じてみよう。

### 展開

#### 2. 主人公の気持ちを通して、自然の大切さを考える

- ①勇は「ああ。」と思わず声をあげました。どんな気持ちだったのでしょうか。
  - ・年輪があるとは知らなかったから、びっくりしたのだと思います。
  - ・何も考えずに腰を下ろした下にあった植物が、まさか十年以上もかけて育てていたとは思わなかったのだらうと思います。
- ②勇の胸はきゅうっと痛んだとあります。このときの勇は、どんな気持ちだったのでしょうか。
  - ・気持ちは分かります。小さなチングルマが何年もかけて育ててきたのに、それを一瞬にして踏みつけてしまったので心が痛んだのだと思います。前、僕も育てていた植物が枯れてしまったときに同じような気持ちになったことがあります。
  - ・分かるような気がします。大きくなるのに何年もかかったのに踏みつけてしまったときは、何だか申し訳なく感じます。きれいに咲いている花を折ってしまったときに申し訳なく感じたことがあります。

- 教材分を最後まで読み聞かせる。
- ・勇の「ああ。」という言葉から心情を考えることで、自然を大切に思う気持ちを想起できるようにする。

#### 主体的・対話的で深い学びのために

- ◆勇の気持ちに共感することを通して、自己の自然との関わりについて考えられるようにする。
- ◆自然を大切にすることの難しさや、その時の気持ちを出し合い、話し合う。
- ◆自然との関わり、経験を語れるようにすることで、自然愛護を自分との関わりで考えられるようにする。

**評価** 自然の素晴らしさについて、感動を深めることができたか。(発言、観察)

### 終末

#### 3. 学習のまとめをする

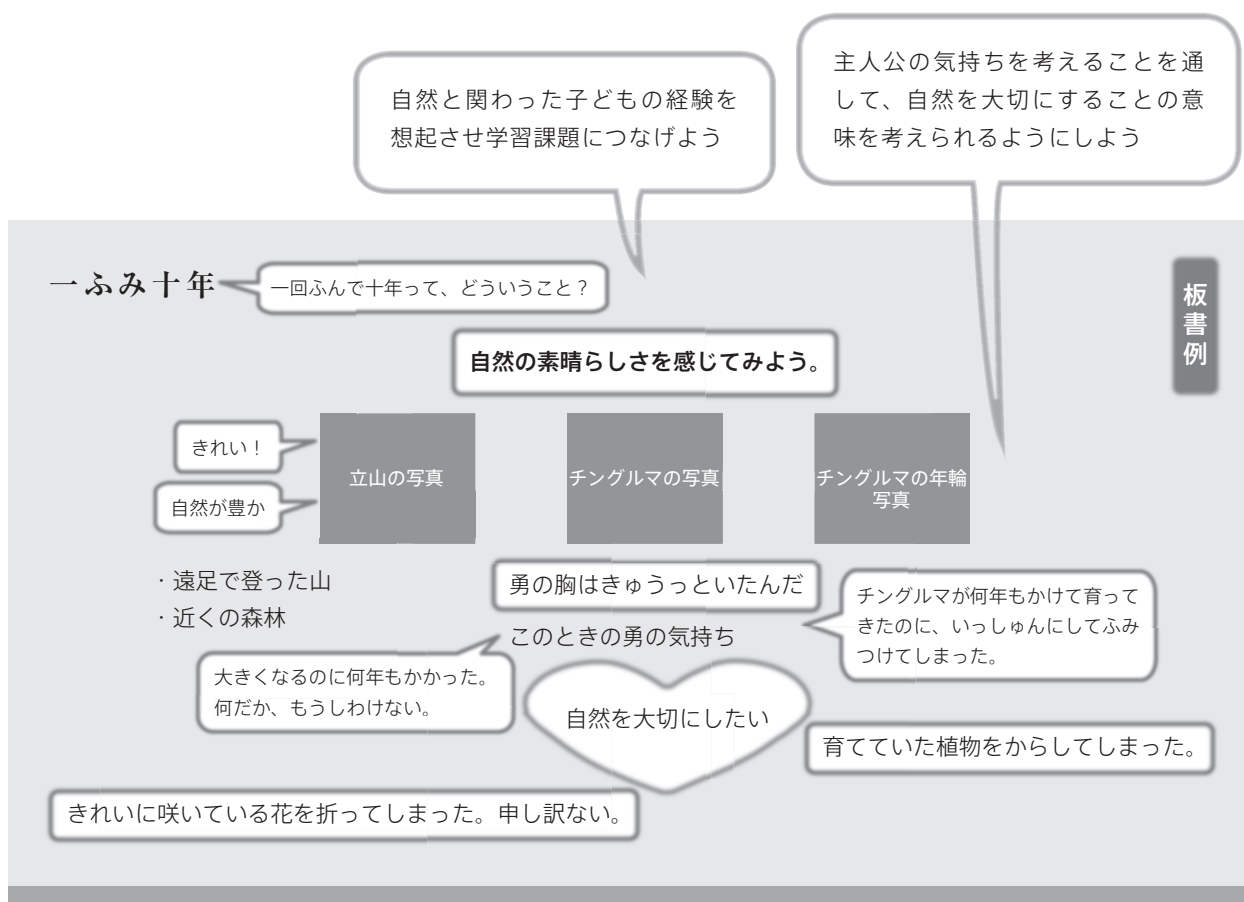
- 今日の学習でどんなことを考えましたか。
  - ・自然を大切にすることは、同じ命だと思って大切に接することだと思いました。今まで、大切だと知っていても折ったり枯らしたりしてしまいました。これからは、命あるものとしてもっと大切にしようと思います。

- 「自然を大切にすることはどういうことか、そのように考える理由は何か」に対する考えを記述させる。



## 板書

### 板書例と指導の流れ



### 授業の流れ

(1) 富山県にある立山の写真です。写真を見てどう思いますか。

(2) みなさんも、自然が豊かできれいだなと思ったことはありませんか。

(3) 勇は、「ああ。」と思わず声を上げました。どんな気持ちだったのでしょうか。

(4) 勇の胸はきゅうっと痛んだとあります。このときの勇の気持ちは分かれますか。どうして分かるのですか。胸が痛むとは、どういうことなのでしょう。

(5) 今日の学習でどのようなことを考えましたか。

### 授業を活性化させるコツ

◆多面的・多角的に考えさせるために、自然と関わった児童の経験を想起できるようにすることがポイント

本事例では、自然愛護をいかに自分との関わりで考えられるかが重要となる。そのために、立山の写真を提示することで、豊かな自然や自然の美しさに関心をもてるようにする。

◆主人公勇の「胸がきゅうっと痛んだ」ときの気持ちを考えることを通して、児童の経験が表れたときがチャンス

主人公が胸を痛める気持ちは分かる。その気持ちに共感できるのは、自分にも同じような経験があるからである。主人公の気持ちに共感できるかを問い、児童自身の自然愛護についての経験を想起できるようにすることが大切になる。自分の経験を想起して学習を進めることで、実感を伴った道徳的価値の理解へとつながる。



## 教材の吟味・具体的な活用方法

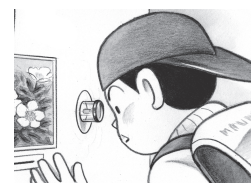
### 本教材の構造

本教材は、①主人公が立山直下に広がる溶岩の台地で、高山植物に覆われた草原帯の美しさに感動する場面、②自然解説員の松井さんの話で自然の偉大さ大切さに気付く場面で構成されている。

①は、主人公の勇が立山の美しさに感動し、遊歩道の傍らの草むらに腰を下ろして無言で山を仰ぐ場面である。児童は、主人公が広大な自然に感動したことに共感することを通して、登山をした経験を想起したり、身近な自然(山や森林)と触れ合ったことを想起したりして自然の美しさについての考えを深めることができる。

②では、主人公の勇が自然解説員の松井さんの話で、何気なく腰を下ろした下に生えていたチングルマについて考える場面である。児童は、写真(挿絵)で見る小さな花がマッチ棒ほどの大きさであること、そしてその茎には年輪があることに驚く。児童は、理科の学習などで植

物について学んできている。植物の茎には年輪がないことを知っているからである。しかし、花だと思っていたチングルマは木の仲間であった。チングルマの年輪を数えることで、十年以上もかけて成長していることに気付く。そして、自分の身の周りの植物も年月をかけて成長しているのではないかと関連付けて考えることができる。



### 現代的な課題に関する内容

自然の素晴らしさを児童にとって普段の生活で感じることは少ない。そのため、児童にとって身近な自然から考えさせることが大切である。「自然の美しさを感じる」「なぜ、自然を大切にしなければならないのか」と考えられることが大切である。

## 「考え、議論する」授業のポイント

### 道徳的価値を理解させるために

#### 立山の写真を見て、自然の偉大さや美しさに触れよう

自然の偉大さは、自分との関わりで考えることが難しい。そのため、「自然」を児童が身近に感じられるようにするのに効果的である。

### 自己を見つめさせるために

#### 主人公の気持ちに共感することで自分の経験を考えよう

児童は、自然を大切にしなければならないことを知っている。しかし、実際の生活において、よい行動ができているとは限らない。このことを、児童自身が気付くことができるようにするのに効果的である。

### 多面的・多角的に考えさせるために

#### 問題意識をもたせよう

道端に咲いた花、有名な芸術作品、幻想的な自然の風景等の写真を順に提示し、「美しい」と感じるものに挙手をさせる。全てを美しいと感じる児童がいたり、特定のものを美しいと感じる児童がいたりすることを確認し、美しいと感じる心は人によって違うものなのかと投げかけることをきっかけに、「美しい」とはどういうことを言うのだろうかという問題意識をもたせる。それぞれの写真に対し、なぜそれを美しいと感じたかを発表させることで、感じ方の違いに気付かせていくことも有効である。

### 自己の生き方についての考えを深めさせるために

#### 考えたことを振り返ろう

立山の自然、主人公勇が感じた自然、これまでの自然に対する自分など、自分が考えたことを振り返ることで、これからの自分に生かそうとする態度を養うのに効果的である。

## 指導内容の系統性・発展性、各教科等との関連

道徳科(6年)——感動、畏敬の念

19「美しいお面」(本当の美しさとは)

「一ふみ十年」(感動する心)

理科

総合的な学習の時間